

北海道に向く新しいプルーン

ドライフルーツのイメージが強いプルーンですが、“**生**”で食べても美味しく、栽培が増えています。そこでプルーン12品種の特性を調査し、北海道に向けた7品種を選定しました。

有望な品種

「ベイラー」



「マジョリース」



「プレジデント」



やや有望な品種

「トレジディ」



「パープルアイ」



「サンプルーン」



「スイートサンプルーン」



品種名	収穫盛期	樹体生育	収量性	落果	食味	果実の障害	自家和合性	総合評価
トレジディ	8月下旬	□	□	◎	□	□	□	○
パープルアイ	9月中旬	○	□	◎	○	□	□	○
サンプルーン	10月上旬	□	△	□	◎	○	○	○
スイートサンプルーン	10月上旬	□	△	□	◎	○	○	○
ベイラー	10月上旬	□	○	◎	◎	○	□	◎
マジョリース	10月上旬	○	○	◎	◎	△	○	◎
プレジデント	10月中旬	○	◎	◎	○	○	□	◎

各項目の評価 ◎:優れる ○:やや優れる □:中 △:やや問題となる、やや劣る ×:問題である、劣る

自家和合性の評価 ○:自家和合性有り、□:自家和合性無しまたは不明

総合評価 ◎:有望 ○:やや有望 △:やや劣る ×:劣る

場名:北海道立中央農業試験場 作物研究部 果樹科

住所:北海道夕張郡長沼町東6線北15号

電話:0123-89-2001

e-mail: seika@agri.pref.hokkaido.jp